
第2回日本生活支援工学会大会

社会にほんとうに役立つ生活支援工学の人材育成とは

会 期： 平成14年6月1日(土) 10:20~18:30

会 場： 国立身体障害者リハビリテーションセンター 学院講堂

大会長： 木村 哲彦 日本医科大学医療管理学

副大会長： 山内 繁 国立身体障害者リハビリテーションセンター

大会実行委員会：

宮川 道夫（委員長，新潟大学），早野 幸雄（経済産業省），東畠 弘子（福祉用具ジャーナリスト），藤本 浩志（早稲田大学），井上 剛伸（国立身体障害者リハビリテーションセンター），太田 裕治（お茶の水女子大学），斉藤 浩一（東京医科歯科大学），大鍋 寿一（新潟大学），林 豊彦（新潟大学），堀 潤一（新潟大学）

大会事務局：

〒950-2181 新潟市五十嵐2の町 8050
新潟大学工学部福祉人間工学科内
E-mail: jswsat2@mbe.bc.niigata-u.ac.jp
Tel: 025-262-6733 / 025-262-7339 ; Fax: 025-262-6733
URL: <http://www.mbe.bc.niigata-u.ac.jp/~jswsat2/>

参加費（予稿集，懇親会費を含む）：

正会員： 3,000 円， 一般：5,000 円
準会員： 2,000 円， 学生：1,000 円
連携・協賛団体： 3,000 円（正会員に同じ）
賛助会員： 3,000 円（3名まで）

日本生活支援工学会事務局：

〒101-8457 東京都千代田区神田錦町 2-2
東京電機大学 工学部 情報通信工学科 川澄研究室内
E-mail: wsat@c.dendai.ac.jp
Tel: 03-5280-3837 ; FAX: 03-5280-3837 / 03-5280-3389
URL: <http://www.jswsat.org/>

大会プログラム：

- 10:20-10:30 開会の辞
- 10:30-11:30 大会長講演 「生活支援工学分野に於ける人材育成」
木村哲彦（日本医科大学医療管理学）
- 11:30-12:30 平成14年度理事会
- 12:30-13:00 平成14年度通常総会
- 13:00-15:00 シンポジウム1 「生活支援工学の教育と資格はどうあるべきか？」
コーディネータ：宮川道夫（新潟大学工学部）
- 13:00-14:15 シンポジスト講演
- ・「アンケートから見た企業が求める生活支援工学の技術」 山本圭治郎（神奈川工科大学）
 - ・「生活支援工学の資格を確立するためには」 宮川浩臣（大分大学工学部）
 - ・「電子情報支援技術（e-AT）研修プログラムの開発とその実施」 中邑賢龍（香川大学教育学部）
 - ・「生活支援工学の教育カリキュラムの現状と課題」 林 豊彦（新潟大学工学部）
 - ・「厚生労働行政が期待する生活支援工学の人材育成」 渡邊慎一（厚生労働省老健局振興課長補佐）
- 14:20-15:00 討論（特別発言を含む）
- 15:10-16:10 特別講演「社会とモノづくりデザイン」
鴨志田厚子（静岡文化芸術大学）
- 16:20-18:20 シンポジウム2 「社会・企業が生活支援工学にほんとうに期待するもの」
コーディネータ：山内 繁（国立身体障害者リハビリテーションセンター）
- 16:20-17:35 シンポジスト講演
- ・「社会・企業は生活支援工学に何をいちばん期待しているか？」 東畠弘子（福祉用具ジャーナリスト）
 - ・「共用品開発・普及において生活支援工学に期待すること」 星川安之（（財）共用品推進機構）
 - ・「障害がある利用者が期待する生活支援工学とは？」 河村 宏（日本障害者リハビリテーション協会）
 - ・「福祉用具産業の今後の課題と生活支援工学の役割について」
岡倉伸治（経済産業省医療・福祉機器産業室）
 - ・「情報化社会において生活支援工学が果たすべき役割とは？」 関根千佳（（株）ユーディット）
- 17:40-18:20 討論（特別発言を含む）
- 18:20-18:25 閉会の辞
- 18:30-20:00 懇親会

ポスターセッション：

- 9:00-10:00 ポスター準備
- 10:00-17:30 ポスター掲示時間
- 11:00-12:00 説明時間
- 17:30-18:00 ポスター撤去

1. 講演会

SL1	大会長講演	10:30-11:30
	「生活支援工学分野に於ける人材育成」 木村 哲彦 日本医科大学医療管理学	9
SL2	特別講演	15:10-16:10
	「社会とモノづくりデザイン」 鴨志田厚子 静岡文化芸術大学/鴨志田デザイン事務所	11

2. シンポジウム

S1	テーマ1	13:00-15:00
	「生活支援工学の教育と資格はどうあるべきか？」 コーディネータ：宮川道夫（新潟大工学部）	
S1-1	「アンケートから見た企業が求める生活支援工学の技術」 山本圭治郎（神奈川工科大学）	15
S1-2	「生活支援工学の資格を確立するためには」 宮川浩臣（大分大学工学部）	18
S1-3	「電子情報支援技術（e-AT）研修プログラムの開発とその実施」 中邑賢龍（香川大学教育学部）	22
S1-4	「生活支援工学の教育カリキュラムの現状と課題」 林 豊彦（新潟大学工学部）	23
S1-5	「厚生労働行政が期待する生活支援工学の人材育成」 渡邊慎一（厚生労働省老健局振興課長補佐）	26
S2	テーマ2	16:20-18:20
	「社会・企業が生活支援工学にほんとうに期待するもの」 コーディネータ：山内 繁（国立身体障害者リハビリテーションセンター）	
S2-1	「社会・企業は生活支援工学に何をいちばん期待しているか？」 東畠弘子（福祉用具ジャーナリスト）	28
S2-2	「共用品開発・普及において生活支援工学に期待すること」 星川安之（(財)共用品推進機構）	29

S2-3	「障害がある利用者が期待する生活支援工学とは？」 河村 宏（日本障害者リハビリテーション協会）	33
S2-4	「福祉用具産業の今後の課題と生活支援工学の役割について」 岡倉伸治（経済産業省医療・福祉機器産業室）	34
S2-5	「情報化社会において人間生活工学が果たすべき役割とは」 関根千佳（（株）ユーディット）	35

3. ポスターセッション

場所：国立身体障害者リハビリテーションセンター 学院講堂脇ロビー

9:00-10:00	ポスター準備
10:00-17:30	ポスター掲示時間
11:00-12:00	説明時間
17:30-18:00	ポスター撤去

P1	屋内介護用移動機器の開発 西原一嘉(1), 北山一郎(2), 川北和明(1), 横田淳平(1) (1)大阪電気通信大学, (2)兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所	39
P2	ITによるバリアフリー地図の生成と車椅子ナビゲーションへの適用 齋藤慶三(1), 石橋 静(1), 田中洋一(1), 楠田喜宏(1) (1)株朋栄 新テクノ開発室	40
P3	新しい障害者用スキーの開発 土岐 仁(1), 平元和彦(1), 田中雅徳(2), 加藤文博(3) (1)秋田大学 工学資源学部 機械工学科, (2)ニプロ株式会社, (3)CKD株式会社	41
P4	福祉車両の新市場創造 山岸伸彦(1) (1)日本福祉大学大学院 情報・経営開発研究科, トヨタ車体株式会社 福祉車両改造「あい工房」	42
P5	高温超伝導バルク材による磁場発生と福祉・医療分野への応用について 能登宏七(1), 藤根陽介(1), 丹下将克(2), 横山和哉(2), 岡 徹雄(2), 岡田秀彦(2) (1)岩手大学 工学部, (2)筑波大学 数理物質科学研究科, (3)(財)いわて産業振興センター	43
P6	天井吊り下げ式歩行支援システムの開発 渡辺英彦(1), 杉本 旭(2), 永田久雄(3) (1)株式会社 熊谷組 建築本部 建築技術部, (2)北九州市立大学 国際環境工学部 環境機械システム工学科, (3)独立行政法人 産業安全研究所 建設安全研究グループ	44

P7	高齢者の歩行能力の評価システム 河合 恒(1), 比企静雄(2) (1)早稲田大学 人間総合研究センター, (2)早稲田大学 人間科学部	45
P8	高齢者転倒予防評価のための足指間圧力測定器の開発 山下和彦(1), 梅沢淳(1), 田中甲子(2), 川澄正史(1), 斎藤正男(1) (1)東京電機大学 工学部 情報通信工学科, (2)地域保健研究会	46
P9	足関節屈曲機能リハビリ装置の開発 川北和明(1), 西原一嘉(1), 竹之内一樹(2), 藤 智亮(2) (1)大阪電気通信大学, (2)九州芸術工科大学	47
P10	前腕動作の筋電位を用いた簡易同定法 田邊友久(1), 大久保富彦(1), 三好 泉(1) (1)東京都立産業技術研究所 製品技術部製品科学技術グループ	48
P11	干渉波を用いた感覚フィードバック装置の試作 中山宜久(1), 佐々木陽子(1), 吉田正樹(2) (1)大阪電気通信大学大学院 制御機械工学専攻, (2)大阪電気通信大学 工学部 医療福祉工学科	49
P12	安価で簡便な眼球運動入力意思伝達装置の試作 宮坂智哉(1), 石川 朗(2) (1)札幌医科大学大学院 保健医療学研究科 理学・作業療法学専攻 身体機能代償学分野(2)札幌医科大学 保健医療学部 理学療学科	50
P13	運動機能障害者向け電子図書ビューアの概略設計と画面表示の最適化 中村薫里(1), 林 豊彦(2), 中村康雄(2), 遁所直樹(3) (1)新潟大学大学院 自然科学研究科, (2)新潟大学 工学部 福祉人間工学科, (3)自立生活支援センター新潟	51
P14	Web サイトの階層構造と選択情報の質がアクセス時間に与える効果 青柳真吾(1), 林 豊彦(2), 中村康雄(2), 遁所直樹(3) (1)新潟大学大学院 自然科学研究科, (2)新潟大学 工学部 福祉人間工学科, (3)自立生活支援センター新潟	52
P15	データマイニングによる糖尿病患者のための生活習慣管理・改善支援システム 山口昌樹(1), 神戸成典(1), 福土夕紀子(1), 本田宣昭(2), 筒井宏明(2), 総田長生(2) (1)富山大学 工学部, (2)株山武 研究開発本部	53
P16	2000年度における福祉用具市場規模推計値について 経済産業省 商務情報政策局 サービス産業課 医療・福祉機器産業室	54